

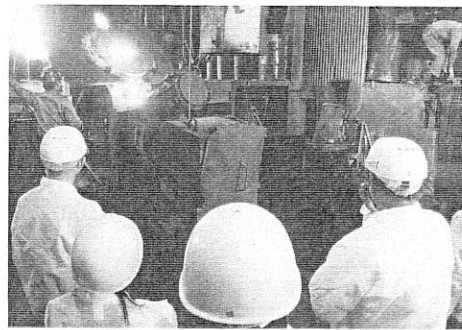


埼玉ちやれんじ
企業経営者表彰
知事賞に一色社長
埼玉産業人クラブ
(増田文治会長)イマス
ダック社長)は4月20
日、さいたま市内で
「第13回埼玉ちやれん
じ企業経営者表彰」

啓詞会長、
三芳合金工
業(三芳町)
の萩野茂雄
相談役、吉
野電化工業
(越谷市)
の吉野寛治

(埼玉県、埼玉りそな
銀行、日刊工業新聞社
後援)表彰式を開い
た。知事賞は中川製作
所(蕨市)の一色讓社
長(写真)、産業人ク
ラブ会長賞は大楯精機
(朝霞市)の大町亮介社
長、特別賞は愛工舎製
作所(戸田市)の生窪

社長が輝いた。一色社
長は紙製品の開発戦略
について講演した。
増田会長は講評・あ
いさつで「中小企業
は、大企業がやれない
ようなニッチな分野を
見いだすことで、なく
てはならない企業にな
ろう」と強調。懇親会
で上田清司埼玉県知事
は「すばらしい知恵と
工夫、意欲と能力が結
実するように交流を重
ね、県は研究機関や国
などと連携をとりなが
ら地域の企業をしっか
り支えていきたい」と



大和合金の溶解
工程など見学
埼玉・TDU
産学交流会
埼玉産業人クラブ・
TDU産学交流会(佐
藤達雄会長)アーベル
ソフト会長)は4月13
日、埼玉県三芳町の大
和合金(三芳合金工
業)で工場見学会を開
催した。会員企業およ

び東京電機大学から13
人が参加。合金を高熱
で真っ赤に溶かして鋳
込む溶解工程(写真)
や、ごう音を響かせる
熱間鍛造の迫力などに
圧倒されていた。
大和合金は1941
年(昭16)創業で、素
材の溶解から鍛造、機
械加工までを一貫で行
う特殊銅合金メーカー
。近年は航空機向け

部品の売り上げ
を伸ばすなど、
高い技術力で存
在感を高めてい
る。
工場内では、
高熱で溶けた合
金が鋳型に注が
れる溶解工程の
様子を参加者全
員が凝視。熱間
鍛造工程では、

「不良が出て溶解炉
で溶かしてしまうの
で、ミスがまるで消え
たようになってしま
う。ここは改善しない
といけない」や、「航
空機向けはまだ5%程
度だが、ここ数年で3
倍、5倍と伸びている
。10%まで伸ばせる
余地はある」と、一つ
ひとつ丁寧に回答して
いた。

やはり熱されて真っ赤
な光を放つ合金を巨大
なプレスハンマーでた
たく光景にくぎ付けと
なっていた。
見学後の質疑応答で
は、「材料管理で苦労
はないか」「航空機向
けの比率はどれくらい
か」など、矢継ぎ早に
質問が飛んだ。
萩野源次郎社長は

祝辞を述べた。
これに先立つ産業人
クラブの第54回定時総
会では、「第36回西海
記念賞」を住田光学方
ラス(さいたま市浦和
区)の渡部洋己氏、幸
大ハイテック(羽生
市)の小柳康雄氏に授
与した。
西海記念賞は会員企

業の社員らを表彰す
る。渡部氏は「内視鏡
型OCT(光干渉断層
計)プロローブの開
発」、小柳氏は「使う
人にやさしいオージオ
メーター(簡易聴力検
査機)の開発」の成果
が認められた。懇親会
などには140人程度
が参加した。